

現代  
俳句

# いわて

発行 令和三年十二月二十五日



岩手県現代俳句協会 No.79

## 一年を振りかえって

岩手県現代俳句協会会長 名久井 清流

第三十五回現代俳句東北大会は本県の担当で九月二十五日盛岡のエスポワールに於いて開催の予定でした。

大会に向けて準備を進めておりましたが、ワクチン接種も遅々として一向に見通せず、一年延期された東京オリンピック・パラリンピックも開催が危ぶまれておりました。毎日の感染状況に注視しておりましたが回復の傾向が見られ無い為止むを得ず、昨年の青森に続き大会は中止とし募集句のみの開催を決断いたしました。

募集句もどれだけの方々が参加して下さるか心配でしたが一八一名の方々から六五四句の作品を寄せていただきました。まずは成功裡に終ったと評価し

て良いのではと思います。皆様ありがとうございます。

本年も俳句大会は軒並中止、句会もままならない中、事務局の尽力で三回の通信句会が実施できました。諸々の事務局の仕事を抱えながらの作業は大変なご苦労をかけたものと思います。心から感謝申し上げます。

会員の皆様方もワクチン接種はすでに済んだものと思いますが、また新たな変異株が発生しました。健康に留意し来年は皆様にお会いできることを願っています。

# 令和三年度幹事会記

五日市 明子

三月二十二日に開催予定であった岩手県現代俳句協会の令和三年度総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止となった。よって、それに先立ち二月二十七日に行われた幹事会において承認された議決内容、その報告をもって総会記に代えたい。なお、資料は総会中止を決定後、各会員宛に郵送済である。

- (1) 令和二年度事業報告
  - 夏季俳句会 七月二十九日 十四名出席
  - 秋季俳句会 九月二十九日 十五名出席
  - 第一回通信句会 十一月 三十一名参加
- 「現俳いわて」七十八号の発行(十二月)
- (2) 令和二年度一般会計及び特別会計決算報告
- 経費節減により特別会計に十万円繰入れ計上できた
- (3) 同、会計監査報告 適切な処理の報告

(4) 令和三年度事業計画(案)

春・秋季の各句会

現代俳句東北大会(岩手大会)の開催 九月二十五日

「現代俳句いわて」七十九号の発行

(5) 令和三年度一般会計予算(案) 特別会計予算(案)

(6) 役員改選(案)

本年は改選年に当たり審議の上、次の様に改選された。

- 幹事 伊藤晴子、小野寺東子、小原きよ、熊谷勲子、佐藤レイ、四戸美佐子、下田榮一、高井武子、武田稲子、新山のぼる、安部克詠(新任)、鎌倉道彦(新任)、澤藤はなの(新任)、中野風子(新任)、夏谷胡桃(新任) (任期二〇二四年三月)
- (7) 新会員紹介
  - 田代 節子(盛岡) 以上一名

右記の各議案は幹事会にて審議の上、承認された。

## 第二回通信句会作品抄

令和三年二月 参加者三十二名 九十六句

### 名久井清流 選

特選 春めくやアラン・ドロンのような猫 さいとう白沙  
秀逸 雪焼の咬歯どっかと靴をぬぐ 高井 武子  
秀逸 しぐるるや石膏のまだ像でなく 及川真梨子

### 新山のぼる 選

特選 立春や兜太の鮫の来るころか 稲玉 宇平  
秀逸 ラフマニノフ昏く洩れくる冬館 千葉 任子  
秀逸 寒紅をひいて議長の席に立つ 小野寺東子

### 武田稲子 選

特選 回覧板粉雪たたいて貰ひけり 大石 文雄  
秀逸 稜線の鋭き峰に冬入日 田代 節子  
秀逸 寒に入る足裏さしきし鳴きにけり 稲玉 宇平

### 大石文雄 選

特選 海を背に語る震災斑雪 中野 風子

秀逸 雪焼の咬歯どっかと靴をぬぐ 高井 武子  
秀逸 窓霜の結晶妖精の羽音 四戸美佐子

### 鎌倉道彦 選

特選 立春の湯気立ててゐる象の糞 小野寺東子  
秀逸 少年に男の匂ひ寒稽古 安部 克詠  
秀逸 寒紅をひいて議長席に立つ 小野寺東子

### 佐藤レイ 選

特選 立春や兜太の鮫の来るころか 稲玉 宇平  
秀逸 病棟の白衣の戦士冴返る 武田 稲子  
秀逸 あの時のしじまを射貫く春の星 田代 節子

### 及川真梨子 選

特選 凍て返るドクターへりに鳴る玻璃戸 さいとう白沙  
秀逸 ののんと根雪の嵩の増しゆけり 四戸美佐子  
秀逸 山眠る南部赤松歩哨とす 安部 克詠

### 互選高点句

マスクして名前失ひたる如く 下田 榮一  
少年に男の匂ひ寒稽古 安部 克詠  
真白なるガーゼの産着春立ちぬ 牧原美喜子

### 第三回通信句会作品抄

令和三年五月 参加者三十一名 九十三句

#### 小菅 白藤 選

特選 動き出してわかる毛虫のまえうしろ 伊藤 晴子  
 秀逸 口利かぬ暮しの日々や梅雨に入る 新山のぼる  
 秀逸 バトンパスの練習つづく草いきれ 小笠原祐子

#### 名久井清流 選

特選 トラックで来て一斉に草を刈る 小野寺東子  
 秀逸 ロールケーキに渦ぼたりと止みし緑雨 佐藤 レイ  
 秀逸 一万歩に足らぬ薄暑のリポビタン 稲玉 宇平

#### さいとう白沙 選

特選 あと一人アウトの球威風光る 千葉 百代  
 秀逸 郭公が抜け東屋の日のかげり 及川真梨子  
 秀逸 頭振ることを覚えて蝌蚪泳ぐ 名久井清流

#### 小野寺東子 選

特選 幾重にも水を重ねて大代田 安部 克詠  
 秀逸 植田にも鉄骨高く組みあがる 鎌倉 道彦  
 秀逸 もしかして我かも知れず羽抜鶏 新山のぼる

#### 四戸美佐子 選

特選 飼い猫の青葉時雨を連れ帰る 佐藤 レイ  
 秀逸 灯を消して夜蛙の声近くする 名久井清流  
 秀逸 蛇崩れの岬の封鎖やませ吹く さいとう白沙

#### 佐藤 レイ 選

特選 兜虫世界遺産の樹液吸ふ 小菅 白藤  
 秀逸 あと一人アウトの球威風光る 千葉 百代  
 秀逸 キリンの舌ひらひら八月十五日 小菅 白藤

#### 互選高点句

噴水に掴み切れない空がある 大石 文雄  
 動き出してわかる毛虫のまえうしろ 伊藤 晴子  
 廃校や鉄棒低く草茂る 大石 文雄  
 自肅てふ時の余白を草むしり 佐々木徳子

### 第四回通信句会作品抄

令和三年八月 参加者三十三名 九十九句

#### 名久井清流 選

特選 秋はじめ身ぬちの弦の鳴り出しぬ 千葉 任子  
 秀逸 八月や銃後の乙女老いにけり 武田 稲子  
 秀逸 就職列車の写真晩夏の無人駅 鎌倉 道彦

#### 阿部 克詠 選

特選 庭花火母の袂を子は握り 三浦 寿子  
 秀逸 幼子の昼寝の拳すくほぐる 小野寺東子  
 秀逸 なんとなくあの人嫌いへひり虫 牧原美喜子

#### 大石 文雄 選

特選 防護服昼夜戦い愛の汗 中野 風子  
 秀逸 庭花火母の袂を子は握り 三浦 寿子  
 秀逸 未接種を詫びて省略盆帰省 さいとう白沙

#### 小野寺東子 選

特選 なまくらな出刃に噛みつく大南瓜 さいとう白沙  
 秀逸 イギリスの車がそこに松手入 三浦百合子  
 秀逸 B級の殺し屋がくる熱帯夜 夏谷 胡桃

#### 四戸美佐子 選

特選 しばらくは夜の名残りの朝ちちろ 安部 克詠  
 秀逸 露草の茎かきくけこかきくけこ 名久井清流  
 秀逸 見廻りの腰まで濡れて稲の花 小野寺東子

#### 夏谷 胡桃 選

特選 プティックを覗いて帰る鬼やんま 佐々木徳子  
 秀逸 裏窓に雨ふる気配バナナ剥く 大澤 保子  
 秀逸 煎餅にざらめのひかる終戦日 大澤 保子

#### 互選高点句

豆腐屋の豆腐涼しき水くぐる 安部 克詠  
 見廻りの腰まで濡れて稲の花 小野寺東子  
 なまくらな出刃に噛みつく大南瓜 さいとう白沙

大会受賞作品

◎第三十五回現代俳句東北大会（岩手大会）募集句

秀逸賞

万緑や水の音消す水の音  
アノラック兄の形に掛けてある  
佳作賞

自粛でふ時の余白を草むしり  
置まれしままの国旗や芒種来る  
百歳とこたえし笑顔トマト挽ぐ  
笑うにも泣くにも力青胡桃  
下田 榮一  
大澤 保子

◎第二十九回宮沢賢治生誕祭全国俳句大会応募句

大石 悦子 特選

銀漢や誰も堅穴に子を産みし  
豊山 れい子

松岡 隆子 特選  
安部 克詠

幾重にも水を重ねて大代田  
白濱 一羊 特選

鳥雲に入るや賢治の恋未完  
岩 渕 正力

人ごも濡らしてゐたり滝しぶき  
大石 文雄

◎第三十五回岩手県俳句連盟賞  
俳句連盟賞

年迎へーふるさとの冬ー 大石 文雄

冬囲ひ男結びにぎりと締め  
手櫛曳き五十集屋帰りの母の笑み  
講といふ寄り合ひなごみ爛熱く  
煤掃いて炉火焚き埃しづめけり  
敷薬を替へて年越す厩かな  
餅搗きの庭に夫婦の阿吽かな  
若水を汲んで家督に目覚めをり  
穏やかに雪被りゐる屋敷神  
大黒の笑まふ日捲り掛けて春  
ご年始の客とほどよき酔ひの父  
旧き家に古き佳き壺室の花  
農を継ぎ農を誉れと飾り白  
燭ひとつ身を寄せ合ひて薬仕事  
馬喰の尽きぬ話に櫛木足す  
綿入れを繕ふ祖母の背が丸く  
風疼く棚に富山の置き薬  
寒中も水拭きにして杉戸照る  
茅屋更け仕舞風呂より舁の母  
筵織る父にも言ひたげの馬  
大雪は豊の兆しと祝ひけり

※俳句連盟賞は昨年に続き二年連続、三度目の受賞

句集紹介（出版順）

照井 翠 「泥天使」

三・一一死者に添ひ伏す泥天使  
抱いて寝る雪舞ふ遺体安置所で  
夜桜や影精霊のごと揺るる  
あなたから成るしら露もこの霧も  
別々に流されて逢ふ天の川  
鯛や海ひと粒の涙なる  
流れ星億光年を散骨す  
死の灰の中より生れ雪螢  
人呑みて光の春となりにけり  
三月を喪ひつづく砂時計  
また春が来るのか泥に沈むのか  
肺白く芽吹き人類滅亡す

令和三年一月出版  
（コールサック社）

大澤 保子 「巴旦杏」

青鹿のごとく月下の一流木  
縫初の白糸通す山河かな  
完熟といふ痛みあり榎櫃の実  
龍淵に潜むや下ろし金一つ  
雁ゆきし天を映せる甕の水  
草木と同じ息せり初しぐれ  
秋風や地下水脈の上歩く  
龍の玉没日は痛きまで澄めり  
綾取の川をのほれば妣のくに  
奥羽山脈よりの風花鬼房忌  
涅槃西風水面は氷りつつ流る  
祖母の名はやすの巴旦杏たわわ

令和三年五月出版  
（ふらんす堂）

小菅 白藤 「岩手嶺」

卒寿にはたどりついたよ放屁虫  
兜太亡きあとの秩父の墓  
初鶏の干支のねずみに叶ふまる  
ふるさとや手もちぶさたの道をしへ  
高齢のものをもるべし穴惑  
春暁や兜太の軀もう聞けぬ  
あたたかや永久に兜太の手やはらか  
里芋の親子のわかれ水の中  
つぎはぎの齡ひつさげ夏に入る  
鬼房の地や犬ふぐりいぬふぐり  
にんげんもすり減るものよ十二月  
とびとびにひとの口読み日向ぼこ

令和三年七月出版  
（小松総合印刷）

◆新会員・作品と所感◆

四季

田代 節子

手を振りて別れそれきり春の宵  
時の日の時へ青色砂時計  
被爆され多く語らず逝きたまふ  
川床の石朗らかに九月かな  
雪催 盲導犬が前屈み

遷暦の年に夫に先立たれました。一年半後盛岡での一人暮らしが始まり古い小さなアパートの十階でぼんやり空を眺めています。不思議な事に忘れたはずの幼い頃の景色が浮かんで来ますが、ふるさは今は今ではすっかり様変わりして訪れた折には戸惑うばかりでした。兜虫がたくさん集まる大きな木のある湿った薄暗い林の空気感や懐かしい小道の側の小さな流れと見つけた沢蟹の逃げる様子等七十年近く昔の事がまざまざと思い出されます。昨日思い付いた用事は忘れるのにと苦笑いです。それでも新聞・テレビ等に若い才能豊かな人達がどんどん現れ、思いがけ無い発想で新しい事に挑戦し結果を出している話題など見ると、とても頼もしく未来は明るいかと思っています。何十年先は見られないけれど穏やかな日々になっていますようにと願うばかりです。

※〈岩手現俳 今年を振り返る〉※

○令和三年度総会・俳句会 ↓ 中止

○現代俳句東北大会（岩手大会） ↓ 募集句のみの大会

応募総数六五四句（二八一名）は近年の同大会と比して約六十句減。岩手では四二名から一七四句の応募（総数の約二十六パーセント）。うち九名は当会会員外

○通信句会実施（二月・五月・八月の三回）

各回とも三十名を越える参加者。通常の句会参加者の二倍相当。感染症の拡大状況により今後も実施予定。

○盛岡国際俳句大会吟行句会にて名久井会長が講師。

十一月三日、盛岡市中央公民館にて市民十三名が参加。

○新入会員

田代 節子（盛岡市）

悼

鳥田清子様が四月ご逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

岩手県現代俳句協会

岩手県現代俳句協会

年会費ご納入のお願いについて

当会の年会費は、例年総会の当日ご納入をお願いしているところですが、予め左記をご参考に、令和四年四月末頃をめどにご協力くださいますようお願い致します。

一、令和四年度年会費

二、〇〇〇円

二、◎振込の場合

岩手銀行本店・普通預金

No.1155476

口座名：岩手県現代俳句協会

会長 名久井清流

◎現金書留又は

定額小為替送付の場合

〒〇二〇一〇一三五

盛岡市大新町七の二〇

五日市明子方

岩手県現代俳句協会会計担当宛

〈お誘い ぜひぜひ！〉

現俳の本部協会の方（会員誌『現代俳句』が毎月お手元に届く方）へ。

会員の交流欄「現代俳句の風」

に参加しませんか。作品募集中です。最近一年間の作品から四季各一句を専用ハガキで送ると、全句と氏名が年間を通じ必ず掲載されます。締切一月二十日。詳細と専用ハガキは『現代俳句』十二月号の巻末を参照ください。

編集後記

現俳東北大会が無事終了した。直接・間接にご協力くださった皆様方に心より感謝申し上げます。今年も秋田勢が出足の速さ・投句数・受賞数で他県を圧倒。毎年のことで注目に値する。

岩手現俳事務局の立場で三年前から市の「盛岡国際俳句大会」の実行委員を務めている。他の委員（県俳連会長、岩手県俳人協会事務局長）と共にアドバイスをやチェックを行う。市には開催時期を毎年一定にと提案したが、果たして来年はどうなるか？（明子）

令和三年十二月二十五日発行 第七十九号

発行人 名久井 清流

編集人 五日市 明子

発行所 岩手県現代俳句協会

〒〇二〇一〇一三五

岩手県盛岡市大新町七の二〇

五日市 明子方

電話〇一九（六四五）七四三六